

キャプテンズ・ミッション

2007 年度上期 CHQ業務目標

CHQ 業務全般

- 2008 年度以降の各種支援制度について大枠の方向性を定めた後、上期中に詳細案を策定する。
- 47 都道府県訪問会議を 2007 年度も実施するとともに、各ミッションのジョイントミーティングや活動状況の視察等を積極的に行い、全国のサッカー関係者とのコミュニケーションを通じて、更なる課題の発見、そして問題解決策の実施に挑む。
- 2006 年度に発行した「都道府県協会チャート」「都道府県収支状況」について、特に都道府県協会の意見・要望を確認しながら、更に良い指標となる様改訂する。
- 新たなミッションとなる「M2.JFA グリーンプロジェクトの推進」「M11.スポーツマネジメントの強化」について、推進体制を確立し、施設整備・人材育成の分野においても JFA が 2015 年に世界のトップ 10 に入るための施策を展開する。
- 「業務プラン 2010」を作成し、「JFA2005 年宣言」の具現化に向けて関係者との意識の共有を諮る。

M 1:「JFA メンバースhip制度」の推進

- JFA・都道府県協会における各登録カテゴリーと連携し、全体的な業務推進体制を改善・構築する。
- 登録者への全体メリット/ベーシックサービスに関するコンセンサスを導き、個別メリットの検討・充実を図り、未着手のカテゴリーを含めた各カテゴリーの登録制度を構築・推進する。
- 「JFA メンバースサイト」を各カテゴリーに跨って横断的に整備・活用し、登録者に対する積極的な情報提供を引き続き行い、登録意義/メリットや登録料の活用方法等の明確化・積極的な PR を行う。

M 2:「JFA グリーンプロジェクト」の推進

- プロジェクト推進体制を確立する。
- リーフレット・ポスター等の展開を通じて、天然芝の普及に関する JFA が考える将来像を掲げ、多くの人々とその将来像の共有に努める。
- グリーンプロジェクトパートナーのあり方の検討を行い、その登録制度を整備する。
- 天然芝の維持管理に関する情報を収集・整理し、そのガイドブック作成に着手する。
- 都道府県フットボールセンター整備推進事業に関する理念や整備運営手法の紹介等を行うリーフレットを作成し、展開する。

M 3:「JFA キッズプログラム」の推進

- 「モデル FA 制度」を通じた活動を中心に、将来的に自主採算による運営が確立される様に、各種報告書・アンケート等、全国の活動状況を通じて、モデルケースの精査に着手する。
- 各都道府県においては、将来に向けた継続的な取り組みとして、キッズを中心に様々な取り組みと連動させ、地域に根差した活動を更に定着させる。Jリーグアカデミー・4 種関連との更なる連携に加え、他スポーツ競技団体や教育団体・自治体・省庁等にも積極的に交流を図り、協働する。
- キッズ担当責任者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。

M 4:中学生年代の活性化

- 重点的な取り組みとして「プレー機会の増加」と「環境の整備」を掲げ、都道府県協会と積極的なコミュニケーションを図り、この年代における諸課題の解決・改善策の実施・フォローアップに継続して取り組み、中長期的かつ具体的な施策について検討する。
- 2007年度「トライアルFA制度」の対象FAのみならず、2006年度末をもって支援が終了したFA、また今まで対象FAとして活動をされず独自に活動を進めている都道府県協会の取り組みについても情報収集に努める。
- トライアルFA担当者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。

M 5:エリート養成システムの確立

- 「リードFA」制度を通じた活動を中心に、具体的実施プログラム・タレント発掘/養成活動・指導者の養成・保護者への啓発活動等を推進し、JFAとしてエリート選定基準等を具体化する。
- 取り組み意義の理解促進に向け、都道府県協会を中心に積極的に展開し、Jリーグアカデミーとの連携や他スポーツ競技団体・教育団体・自治体等、広く世間にアピールする。
- リードFA担当責任者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、リードFA以外のキッズ担当者を含めて、広く情報共有・ネットワーク構築を図る。

M 6:女子サッカーの活性化 ~競技人口の拡大~

- 女子チームを紹介するサイト情報の充実や「トライアルFA」の活動のサポート等、諸施策を行いながら、競技人口の拡大を図っていく。
- 高校女子サッカー全国高体連加盟手続きを行い、組織体制の整備・構築を目指す。
- トライアルFA担当者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。
- 「トライアルFA制度」の対象FAを中心に活動の好事例を展開し、都道府県協会等の活動をサポートする。

M 7:フットサルの普及推進

- JFAファミリーフットサルフェスティバルを継続するとともに、地域コミュニティでも活動が推進される様、努める。
- フットサルの体育館利用に関する実態調査を受け、体育館利用に関する問題が解決する様、諸施策を検討し実行する。
- トライアルFA担当者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。
- 「トライアルFA制度」の対象FAを中心に活動の模範となる好事例を展開し、都道府県協会等の活動をサポートする。
- ビーチサッカーの活動状況の集約に着手する。

M 8:リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 「2・3種リーグ改革プロジェクト」を中心に、継続して「リーグ戦の推進」に取り組み、都道府県リーグはじめ各種リーグ戦の整理・過密日程解消に向けた具体策を検証する。
- 「JFA試合運営ガイドブック」「競技ガイドライン」の改定を検討するとともに、全国大会はじめ競技会の整備・充実のため、課題の抽出やその解決策を検証する。

M 9:地域 / 都道府県協会の活性化

- JFA と地域 / 都道府県協会のより強固な関係の構築に向け、積極的なコミュニケーションを常に図り、積極的な活動をサポートするとともに、47 都道府県訪問会議はじめ各種会議 / イベント等を通じ、抽出された課題や対応方針等、JFA の運営に反映させる。
- 全ての都道府県協会の法人化・常勤事務局体制の整備を果たすとともに、連結決算を含めた会計の透明化や事業規模拡大等について、継続して推進する。
- CHQ タスクフォース(組織機構改革と未登録チームの登録推進)では、都道府県の課題等に対する解決策となりうる好事例の紹介を積極的に行う。
- 「チャレンジ FA 制度」については、好事例の展開・制度の更なる充実のため、対象 FA の活動を積極的にフォローアップし、また、2006 年度をもって支援を終了した対象 FA の活動状況の情報収集にも努める。
- シニア年代の活性化について、トライアル FA 担当者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。
- 日本のサッカー発展のための「グラスルーツ活動の推進」の役割を検証する。また、この取り組みに対する JFA・地域 / 都道府県協会の役割も併せて検証する。

M10:中長期展望に立った方針策定と提言

- 「JFA2005 年宣言」について、具体的な目標達成時のビジュアル化や浸透 / PR ツールの展開等を通じて、多くの関係者と価値観を共有し、より多くのサッカーファミリーに更に浸透させる。JFA においては、「業務プラン 2010」を策定し、また「アクションプラン 2015」を推進する。都道府県協会に対しては、好事例を展開し、「JFA2005 年宣言」や「キャプテンズ・ミッション」を踏まえた独自の目標設定や具体的アクション等(PDCA サイクル)を引き続き推進する。
- 「CHQ フューチャープロジェクト」では、新キャプテンズ・ミッションの中期展望や CHQ の関連施策について議論する。

M11:スポーツマネジメントの強化

- JFA の事業として、業務推進体制を確立する。
- 各級の実施要項(カリキュラム) / ガイドライン等を策定し、具体的な展開に繋げる。
- 都道府県サテライト講座におけるインストラクターの養成制度の確立に向けた検討に着手する。
- E-learning 講座の開発に着手する。
- 「JFA スポーツマネジャーズカレッジ」が掲げる将来像やスポーツマネジメントを学ぶ意義等を広く社会に共有するための広報活動を実施する。

以上